

# 緑ヶ丘だより

発行 令和6年3月23日  
座間市緑ヶ丘地区自治会連合会

緑ヶ丘地区自治会連合会とは  
緑ヶ丘南自治会会長 湯浅一弘 194世帯

今年度の役員を終えて  
小田急線相武台南自治会 105世帯  
立石

緑ヶ丘地区自治会連合会（以下、地区自連）という集まりがあります。緑ヶ丘地区の自治会で構成されており、それぞれの自治会だけでは実行しづらい規模の催しを実施するために存在しています。市民レクやさくら祭り、盆踊りといったイベントなども地区自連が核となって開催しているもので、この「緑ヶ丘だより」もこの集まりが発行しています。その他にも、地区でやるべきこととして、みんなの力が必要になる防災や福祉に関わることが挙げられます。避難所開設はほぼ自治会に任せられており、地区自連が主体となって避難所運営委員会を構成し訓練しています。また福祉関連は、緑ヶ丘地区社協が現状その役割を担っています。

地区自連のあり方には様々な考え方がありますが、緑ヶ丘地区自連では一昨年度からその運営を緩やかなものに、市民レクなども参加意向のある自治会だけで運営するようにし、会議体も負担軽減のために隔月開催としてきました。役員になったから義務で参加しないといけないといった考え方は古い考え方だと考えたからです。

座間市自治会総連合会（以下、市自連）においても、地区自連のあり方の見直しを行っています。従来の地区自連のくくりを運営しやすいくりにしていくことも考えています。また、地区自連に参加しなくても市自連には参加することができるようにし、補助金は減額されるものの、理事など人的負担は求めないようにしました。

何事をするにしても金と人手は必要です。人手なくして活動を行うことはできませんし、人や金を出さないで参加だけすることは通常の方では許されません。やれる人が協力し合っただけでやるのが肝要です。そうやってはじめて活動ができます。地区自連に参加しないと、冒頭に挙げた防災や福祉、さらには地区自連が開催する催しにおいては、結果として自治会に入っていない人と同様の扱いとなってしまいます。できる範囲で、可能な限り、自治会にそして地区の集まりに参加することが大事なことだと思います。



安倍

2023年度に初めて役員をやらせていただく事になりました。初の自治会役員でしたので分からない事だらけで不安しかありませんでしたが、何とか務めきる事ができました。町内の皆さまのおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。一年務めさせていただいた事で良い点、悪い点が見えてきました。特に休日が自治会活動で潰されるのは現役世代には大きな負担であると思います。役員負担の軽減が大きな課題と感じました。



初めての自治会役員で会長職に就任し、最初は右も左も分からない状況でしたが、周りの援助もあり無事今年度を終える事ができました。イベント、祭りなど多くの方の支えがあり運営されている事に改めて理解と感謝をする大変良い経験となりました。

座間地区は高齢世帯が多く、若い世代が少ないことに加え自治会というものへの認識も薄いいため、今後の施策は様々考える必要があると痛感しました。

高向

私は今年度初めて自治会の役員をさせていただきました。

役員をやってみて感じたことは地域の当たり前部分は自治会の役員の方々がいることで成り立っているということです。ゴミ集積所の場所をどこにするかを決めたり、地域のイベントを成立させるために細かい気配りをしていることを実感できて貴重な経験になりました。

等々力

今年度初めて役員をさせていただきました。防災・清掃・レクリエーション等の運営・参加によって地域活動の理解を深め、多くの方々と知り合うことができました。しかしながら、どの自治会でも同様と思いますが、会員（世帯）の高齢化及び入会数よりも脱会数が増加傾向にあると感じました。また、役員忌避による脱会、入会拒否も少なからずあると思われますので、業務の簡素化、企画を改廃等、会員を繋ぎとめる方法を今後も模索していく必要があると考えます。

黒澤

自治会の役員は三度目ですが役員をやるたびに会社以外の人と交流出来て良かったと思います。今回は初めての会計でしたが周りの人の助けを借りてやりきる事が出来ました。人と人のつながりの大切さを実感しました。今までは中々地域活動に参加していませんでしたが、これからは地域活動に参加して人と人のつながりを大切にしていきたいと思っています。

浅野

今年度約10年ぶりに自治会役員を経験しましたが、一番不安に感じた事は会員数の減少です。私が担当した区では5世帯が退会しました。高齢で負担が大きい、周りがどんどん退会し区として機能していない、自治会に入会するメリットが無いなど理由は様々です。今後もこの問題に直面する可能性は高く、自治会の在り方を今一度考える時なのではと強く感じました。例えば役員数を減らし、防災に特化した自治会だったり、美化デーにキッチンカーを呼んだり、魅力ある自治会作りを今後も考えていきたいと思っています。

# 今年度を振り返って

新緑ヶ丘自治会 会長 川邊裕敏 136世帯

# ～初の自治会参加を振り返り～

緑ヶ丘中央自治会副会長 吉川篤子 231世帯

今年度も一年間を振り返る時期となりました。この一年間の当自治会の活動を振り返ってみると、まず大きな事は「資源ごみ回収」の担当業者を変更しました。昨年までの業者の方より来年度は出来ませんと通知を受けたため、この活動を継続したいと思い市内での業者を探していたところ近くの「清川商店」さんに依頼しました。そしてふたつ返事でやっていただくことになり、月一回の「資源ごみ回収」を普段使っているゴミ集積所に、第2土曜日指定で出すことになりました。以前は自宅前に置き、回収してもらっていましたが、置く場所が自宅前から集積所に変更になり、大変さも増し量的に減ってしまいう心配がありました。そこで、毎月「回覧」で収集のお知らせをしました。その成果かわかりませんが、前年に比べ2月現在で、昨年同期の約2倍の金額にもなっています。広報の成果か自治会の皆様の意識の変化があったのかわかりませんが、この取り組みを来年度も継続して行っていきたいと思っております。



次は来年度30周年を迎えるにあたり、年度の後半から役員等でそれに向けた取り組みを考えました。結果、「記念誌の発行」と「災害時の防災グッズの配布」の2点でまとまりました。記念誌では自治会の発足当時の地域の様子や行ってきた行事の紹介を当時の写真で振り返ってもらおうようなスタイルの紙面が出来上がりました。もう一つの防災グッズの入れ物ケースには「ざまりん」のイラストと「自治会名」を入れてもらいました。身近に置いておくことで、防災に対する意識や災害時の持ち出し用グッズとして有効利用してほしいと思っております。配布時期に関しては、4月を予定しています。

その他の活動においては、前年並みに行ってきたことがコロナ前に比べて若干縮小気味です。同じことをやるのか、形を変えてやるのか今の状況にあった活動を模索しながら来年度の活動を行っていきたくと思っています。

最後になりましたが、役員さん・班長さん・自治会にお住まいの皆様、今年度の活動に対しまして紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。また、来年も引き続きよろしくお願い致します。

過去の「緑ヶ丘だより」は市自連のホームページに掲載されています。

- 座間市市自連 検索
- 座間市自治会総連合会 検索
- 中段の自治会活動の記事 検索
- 地区自連マップ スクロール 緑ヶ丘地区
- 緑ヶ丘地区自治会連合会・地区自連活動報告「緑ヶ丘だより」

令和4年7月のP4, 11月のP3がないのは、掲載不可となったためです。緑ヶ丘六丁目自治会長会大塚のコロナ関係の文章です。

まる得：眠れない時、親から教わった睡眠法として羊を数える⇒ヒツジ1匹、2匹、3匹・・・  
 先生：ヒツジは英語で教えないと意味がない。  
 英語で one sheep・・・シープと息をはく。  
 フーッと力が抜けて眠たくなる。  
 引き算 100⇒99⇒98・・・3秒に1つの速度で 相当な不眠の人が70で寝ちゃった。  
 3秒間に1つの数字を思い浮かべてカウントダウン。 100⇒99⇒98・・・

主人の実家の建て替えを機に、座間市に引越してきて25年が経ちました。当時4歳だった長男は転勤先の静岡で家庭をもっており、産まれてもいなかった次男は、この春に社会人3年目と、息子たちの成長から、年月の経過を感じています。

自治会に関しては、仕事を理由に、今まで義母に任せきりでしたので、今回初参加です。いきなり班長と荷が重いと思っていましたが、活動は土日がメインで、負担が大きくなならない配慮もあり、仕事をしながら続けることが出来ました。

せっかくなので、色々な活動に参加しようと思い、谷戸山公園で開催した市民レクは、当日のチェックポイント担当のお手伝いをしました。ウォークラリー終了後の〇×クイズでは大量に野菜をゲット!!参加して良かったです!

座間中学校で開催した避難所開設訓練は、防災委員の方たちが設置した屋内簡易テントや、車中泊用の避難場所、マンホールトイレなどの見学で参加しました。設置作業で苦労したことや、災害発生時に想定される状況などのお話を聞いて、日頃の準備や訓練の重要性を痛感。また、避難場所に限りがあることも分かったので、自宅避難の準備を強化しました。

今年度がはじめての試みとして緑ヶ丘中央防災委員メンバーと今年度の自治会メンバーで、防災と交通安全をテーマに【緑ヶ丘4丁目フェスティバルin都南】を開催しました。7月中旬なのに猛暑日になるなど、外出には向かない天候でしたが足を運んでくださった方たちが、楽しそうだった印象があります。都南教習所様には、開催場所提供の他、応急救護や自転車講習、エア遊具などにご協力いただきました。水消火器や煙体験などの消防体験は消防団と市防災担当の方に。たも野会のお父さん達にはかき氷販売。

JAさがみ様は、新鮮な野菜の販売。他にも、想像していたよりも美味しかったアルファ化米の炊出しや簡易トイレの組立体験などもあり、準備は大変でしたが、良い経験が出来ました。

毎年恒例のイベントになれば、災害が発生した時に、体験したことが役に立つので、開催時期を再検討して、継続できればと思っています。



広報より  
 参考：13日(土)相武台神社で午前中どんど焼きを開催していました。初めて参加しました。

整列して直径2cmくらいの材木の竿を1家に1本もらいそれには針1本に白いお団子が3つ刺さっていて、順番に神社中央の掘りごたつのような2m×2mのところであぶっていました。

竿は担当が回収して、布でふく感じて次にへの利用でした。お飾りはまとめておいて投入。

とん汁・甘酒が無料で振る舞われていました。初めて神社に参拝して来ました。

消防車が1台敷地内で待機。

能登半島地震義援金 73,516円

相武台神社氏子委員会

「わかば自治会」からの原稿はありません

緑ヶ丘第一住宅の自治会会長職をやらせていただきました。この地に住んですでに50年近く、過去に幾度かに副会長とか防災担当とかをやってきましたが、この地域は商店が無いので住民の殆どはサラリーマン経験者であって、先輩住民の中には論客が多かった。総会などには2回に分けても、集会所は満席で喧々譁々様々な意見が飛び交ったものです。バブルの始まりから絶頂期であったからか、伸び行く企業戦士が多かったのか自分の考えを他に譲らない、会員の殆どが家長の男性が自ら身を乗り出した来た。

それから50年近くになるとそうした先輩の論客たちの姿がだんだん少なくなった。出席したとしてもほぼ異論、意見は言わない。大筋が間違っていなければにこやかに了承する。

一方、次の世代の選ばれた役員となるとまずは視界が異なる。SNSを活用して情報の取得の範囲が広がっている。例えばゴミ収集のことも他の自治体で対策を取ってSNSで紹介している効果的な収集の手法をいち早く取り込んだり、身近では座間市クリーンセンターが電子版広報で紹介している施策をいち早く入手して会議で提言する。説明資料でも紙を使わずPower Pointなどの視界に訴えやすいもの、そして役員間の連絡には、紙の回覧は勿論PC メールなど使わずにグループラインなどを使うように提唱する。そして自治会役員構成も、職場でコンピュータを使いこなした経験のある女性が多くなった。回覧や連絡の効率は格段にあがった。が、これではいかにかつての論客といえどもにこやかに了承するしかない。

行政も含めて、このギャップをなんとか埋めたいと躍起のようだが国のデジタル庁のように年齢を重ねただけの人では、滑稽な不祥事を次々と起こして逆に不振を買う。

この一年で、このようなことを感じてきましたが、そうは言ってもAI趣味の私でも難聴がひどくて補聴器を忘れて会議に臨んだら、何を言ってるのかまるで分らない年頃になって、もの忘れがひどくなってきて会議で自分で発言したことさえも忘れる事度々で、予定会議の日時が覚えられない事も度々。と言うわけでそろそろ辞退を考えることになりました。

一年間大変お世話理なり勉強にもなり、ありがとうございました。



自治会活動を何も把握しないまま始めた会長職もうすぐ任期満了です。ちょっと早いのですが、役員の皆様「ありがとうございます」もう少しだけよろしくお願いします。

《緑ヶ丘地区自連のイベントに関して》

〔避難所開設訓練〕マンホールトイレ設営・体育館内のテント設営等に携わる事が出来いい経験をさせて頂きました。

〔どんど焼き〕焚き火係担当、焚き火は、大好物なので、楽しく癒されてきました。

機会があれば来年度もお手伝いさせて頂きたい「よろしくお願いします」

〔市内一斉パトロール〕相東小の職員と共に(さつき自治会区域)人数の都合で3班に分かれての実行、ひがチームは、かにかが沢公園～栗原遊水池(グランド・テニスコート周り)の小学生の活動状況説明及び観光案内を行いました。

先生は、何歳になっても「苦手です」

《次期役員選出について》

何処の自治会でも毎年役員選出に苦勞しているかと思えます。何か良い手段を考えないと次年度は、更に苦勞するかと思えます。次期会長さま、役員会で「一緒に考えましょう」。よろしくお願いします。

《最後に》

様々な経験をさせて頂き「ありがとうございました」これからもお手伝いのできる事があれば、「喜んでお邪魔します。」

らい、担当が洗う。仮に使い捨て手袋が用意されていたとしても私なら竿を使用しない。竿に団子を刺し火であぶる効用と竿を洗う負担。どちらを選択するかは価値判断の問題であるが洗うことなど喜んではいないと思う。

地区社協は公表していないが、用意した550袋の団子約100個が残ったそうだ。

竿を使用した人何人、洗った人何人、残りは洗わなくていい人が何人となる。竿先に餅くずが付ないのも不明。1000名近く来た？正確性なし？

なぜ、カウンターで勘定しないのか疑問でならない？100個の残、これはボイコットの結果では？

この1年どんど焼き関連でストレスの負荷大です。これがなかったら3つの文章はなしです。エネルギーの損失だった。

私に代わる次期会長がいないため緑ヶ丘地区自連を退会します。社協も。

強引に社協のための利益誘導に私1人反対したが、来年度はどうなるか？この緑ヶ丘だよりの発行日3月23日新旧での役員会の日です。4月13日は総会です。誰かこれおかしいのでは、丁寧な説明をと発言する人が出てくることを期待します。！！！！

私の一文が生きるか。次期会長及び地元自治会員の皆さんにバトンを繋ぎます  
我が自治会では5年度社会福祉協議会への寄付は徴収しませんでした。なぜなら寄付の40%が地区社協に入るからです。社協の行事どんど焼き予算を半分負担する、事業計画の改正前の文章を並列に記載せず可決されたからでもあります？竿洗い使った人にさせることに不賛成。方向性が間違っているのでは？

ごきげんよう、さようなら。NHK朝ドラ・花子とアン  
老兵は死なず消え去るのみ。マッカーサーの言葉。 p481  
Old soldiers never die, they simply fade away

読書紹介

鴻上尚史著「ロンドン・デイズ」若い頃ロンドンの演劇学校に1年間政府の派遣研修制度で。

NHKBSで日曜日テレビクールジャパンの司会者。

英語学習の奮闘記、ヒアリングが一番大事。

(英語ができる人のアドバイス；映画・デイズニの映画でヒアリングの学習に最適とのこと)

渡部昇一著「日本の生き筋」p72 東京裁判は見せしめ

のショー。 p 79 マッカーサーは朝鮮戦争の体験を

通じて理解し「日本は生存のために戦争を行った」

と証言した。日本のマスコミは報じなかった。

中田整一著「真珠湾攻撃総隊長の回想・淵田美津雄

自叙伝」終戦後おとがめが来ると思っていたが、

おとがめなし。キリスト教徒になり米国へ伝道に。

袖井林二郎著「マッカーサーの二千年」

# どんど焼き⇒始めに竿洗いありき

緑ヶ丘六丁目自治会 会長 大塚幸伸 126世帯

この緑ヶ丘だよりの1ページで湯浅会長が「会議体も負担軽減のために隔月開催としてみました」と述べています。

私の記憶では定例会を隔月開催としたのは、コロナ禍で重要議題があまりないからでした。社協においては毎月開催している。

この隔月開催を悪用したのが去年3月の役員会で、1月の役員会ではどんど焼きの話題なく2月は休会。突然のどんど焼きへの経費を半分負担する予算案と総会での決定。議案をただ読んだだけでのスピード可決。地元に戻っての相談の機会もなく可決。反対は私一人のみでした。

これらのことは、緑ヶ丘だよりの5年7月号、11月号に書きました。その他5年3月号も参考に。

さて今回は実行委員会について書きます。今更ですがこれは決めますが、実行委員会は役員会の下にあるのか上にあるのが不明です。私は役員会の下にあると思っていますが？

4年の秋、饅頭をくばるどんど焼きを実行委員会形式でやりたいと。社協は約10万円・地区自連は数万円の予算であった。

開催日時：2022年11月12日（土）18時～19時

開催場所：緑ヶ丘集会所

## 1. 実行委員会について

地区自連内で、「どんど焼きのような行事こそ自治会で開催すべき」という議論があったので、本年度から実行委員会の形にした。

そう言った人は1名でしたが、これが布石となって5年度予算で半額出すのが当然の流れではないかとの理由にならない理由となる。

5年の10月から毎月実行委員会は開かれ、10月では竿を使った人が洗う。11月社協・地区自連の担当配置。審議事項はメールで送られてきていた。

12月には機材の確認等

## 10月度どんど焼き実行委員会 議事録

開催日時：2023年10月14日（土）

17:00～18:00

開催場所：緑ヶ丘集会所

1. どんど焼き開催日についてとすることを決定した。

1月14日（日）

## 3. 開催形態の検討

- 「団子を焼きたい」という声もあり、課題として竿の扱いについて検討した。
- 竿の清掃・消毒をするための人数が必要となり負担が大きい。
- 竿に参加する人が持参する地区もあり、それが可能であれば、その方法も考えたい。
- 竿は従来通り準備し、竿を使った人にはご自分で清掃して準備した竿を備した竿を使用した場合には使用した人に清掃して頂くこととする。

## 11月度緑ヶ丘地区社協 役員会議事録

開催日時：2023年11月4日（土）16:15

どんど焼き実行委員会状況 ～16:50

先月から実行委員会を開催。

開催日は1月14日（日）で決定。

今年度は、コロナもひと段落という状況で、団子を用意し焼きたい人には焼いてもらう。ただし、実行委員会ですぐ多くの人に手伝っていただく負担を軽減すべく、竿の清掃は使った方にやっていただく。

その他、甘酒およびお菓子の提供を実施する。

12月にどんど焼き開催のお知らせ回覧が送られてきた。内容は

- お正月のお飾りを焚き上げていただきます。
  - ご希望の方にはお団子を焼いていただきます。もちろんお持ち帰りもできます。
- 焼くための竿は準備しますがご使用の場合は、竿の洗浄・消毒はご自身で行っていただきます。もし可能ならマイ竿をご持参ください。

どんど焼き実行委員会

P3A

4

この下に8自治会名。これなど書かなくていいと思うが、8自治会名を書くことによって連帯責任のような思惑。他に書くことあるだろうに。プラスチック類は外してとか、焚火の周辺火の粉が舞うので衣類に注意とか。実行委員会に入る入らないの決を役員会においてとっていないし参加を辞退。内容・竿洗いのこと反対。

令和6年1月13日（土）地区自連役員会においてどんど焼きの配置の説明がやっとあった。12月休会。

実行委員会で当日担当は地区自連10名、地区社協6名。どういう訳か地区社協の数が少ない。逆である。

次の日がどんど焼きの本番の日。

## 2 月度緑ヶ丘地区社協役員会議事録

開催日時：2024年2月3日（土）16:15～16:40

開催場所：緑ヶ丘集会所、

## 2. どんど焼き（報告）

●1月14日に開催したどんど焼きについて意見交換を行った。

C: 団子の数から推測すると、四分の一程度団子を受け取らない人（世帯）がいたので、600世帯ぐらいが参加か。数人で来られた家族も多かったので、1000名近くが来られたことになりそう。

Q: 一世帯で何個か団子を受け取った例もあるので、もう少し少ないのではないかと？

A: 厳密な数字ではなく、おおよその数としてはそれほど間違っていない。

C: 入場する人との交錯があり、竿洗浄の場所は工夫が必要だった

C: 甘酒は早々になくなり、好評だった。

C: 洗浄や消毒に関して、いろいろ言っている人がいる。

A: 言っているのは今のところ一名だけで、他にはネガティブな意見はない。洗浄・消毒に関しては問題になるようなことは一切していない。

C: 洗浄をお願いしても、むしろ感謝の言葉を聞くことが多かった  
地区社協予算70,000円。地区自連予算50,000円  
実績65,656円 43,656円

ここで浮いたお金で社協はなにをするのか不明、市民レクの実行委員会に参加しているが経費負担していないのでは？この総括でいくと何ら問題もなく、来年度も竿を洗ってもらう形で実施することになる。

そういう行事長く続くか。はたしてそうなるだろうか？参加者・お客さんに竿を洗わせることは信じられない。

前の社協の会長の時、どんど焼きの責任者にされたが、その時は社協からは約10名主に各自治会からの要員で、地区自連は焚火の管理、その他協力できる方は他の場所の応援、竿の回収とか。

竿洗いが一番きつい作業場所であるので交代要員を配置して作業した。ある女性役員は旦那さんも連れてきて洗場を毎年担当してくれていた。竿を使用した人に洗わせることなど夢にも思っていなかった。

3つのお餅の購入も、毎年業者が代わっていた。袋詰めできない、できても値段が高くなる、当日の朝の配達は無理、前日の夕方配達にといろいろでした。串に餅を刺し焼いて残りかすが付かない状態の調査などしてこなかった。洗うのが当然の仕事と理解してて、

焚火の所は火を付けるまでと灰の処理時に人手がいるが、マキを投げ入れは1人でよくその間交代要員に。人手が足りないのではない。基地の人も来たし。

ところが今回は、竿洗い場担当はキツイからいやだの声があつて、実行委員会を理由に竿を使った人に洗わせることになったらしい。始めに竿洗いありきです。竿を使った人に洗ってもらう・洗わせる事とはどういう事なのか。想像してみたことでしょうか。

コンテナバケツにお湯が入っていると、何人もの人が使えば雑菌・ウイルスで汚染される。コロナが下火になっているとしても衛生上心配と思わないのか。竿を使用する人に竿洗いを説明しているからと何の疑問も持っていないようだ。

現場を見ると担当者が指導のためにいて、竿の柄の方を持って使用者に素手で洗わせていた。おもてなしの常識があれば、参加者に必要なら柄の方を持って